

令和2年度 第2回八雲町総合開発委員会議事録（要旨）

【開催日時・場所】

令和3年3月30日（火）午後1時30分～午後2時45分

八雲町役場第1・2会議室

【出席者】

委員：大野 尚司、井口 啓吉、近藤 安幸、刀禰 清貴、小笠原 英毅、小川 勝士、木村 滋、能代 常男、阿部 政邦、尾関 光広、上田 倫央、椎谷 玲香、佐藤 馨（13名）

町：岩村町長、吉田副町長、萬谷副町長、土井教育長、三澤総務課長、岡島総務課参事、吉田庶務交通係長、片倉防災係主任、川崎財務課長、野口地域振興課長、成田総合病院事務長、戸田保健福祉課長、佐藤保健福祉課長補佐、北川住民サービス課長、石坂学校教育課長、南川商工観光係長、竹内政策推進課長、上野政策推進課長補佐、多田企画係長（19名）

傍聴者：なし

【要 旨】

○第2期八雲町総合計画実施計画（R3～R5年度）について説明し、質疑を受けた。

○令和3年度予算の概要について説明し、質疑を受けた。

○当面する町の主要施策・事業について説明し、質疑を受けた。

【内 容】

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 町長挨拶

4. 会長挨拶

5. 報告事項

（1）第2期八雲町総合計画実施計画（R3～R5年度）について

政策推進課企画係長より説明。

委員：令和6年度に木彫り熊の100周年を迎える。一般家庭において所有されている木彫り熊の散逸が進んでいる状況にあり、100周年に向けて散逸を防ぐための手立てが必要ではないかと思う。

町：昨年末くらいから広報などで、家に残っている木彫り熊を資料館で保管することをやっている。より広く周知し、貴重な木彫り熊を収蔵していく。

委員：先代から譲り受けた木彫り熊を、現在の所有者が価値を見出せていないことが散逸の原因

の1つだと思うので、町民が所有する木彫り熊を借りて展示会を開催し、価値ある物だと認識してもらうことが必要と思う。また、江戸時代の人別帳のように、どこの家庭にどの木彫り熊が保管されているかという台帳を作成し把握するといった取り組みができないか、検討していただきたい。

委員：この計画にコロナ対策を載せるべきではないか。

町：コロナ対策は、その都度必要な時期に早急に行うということで、補正予算等で対応してきたため、計画に盛り込めていない。仕方のない部分もあると思っている。

委員：そういう事情だと思ったが、例えば商品券配布を町が考えているということを町内の事業者が予め分かるように示した方が良いと思う。

(2) 令和3年度予算の概要について

財務課長より説明。質疑なし。

(3) 当面する町の主要施策・事業について

①新型コロナウイルス接種体制について

保健福祉課長補佐より説明。

委員：接種は義務ではなく、選択制だということを明記すべき。また、接種を受けなかった人に対するヘイト的なことの対策も想定いただきたい。

町：より多くの方に受けていただいた方が集団的な免疫が発揮できるということの周知もするし、強制ではないことも周知する。受けなかった人に対するヘイトについては、どうする方法があるか検討していきたい。

②新型コロナウイルス経済対策について

商工観光係長より説明。質疑なし。

③八雲町役場庁舎等建設計画（案）について

庶務交通係長より説明。

委員：配置図はA案で決定したということか。

町：A案が一番適切という結論ではあるが、基本設計を進めるなかで若干変更となる可能性もある。

委員：建物同士が渡り廊下で繋がっていない案もあるが、せっかく造るのであれば繋ぐべきと思う。

町：意見を踏まえて、決定していく。

委員：この計画案のなかに再生可能エネルギー活用の検討が盛り込まれているが、八雲町には莫大な町有林と民有林があり、そろそろ伐期に来ている。苫小牧にはバイオマス発電所があるが、この近辺には無い。昨年度、八雲町の山の木くず4000～5000立方メートルを、他町村のバイオマス発電に活用したということがあった。地元にも木質バイオの施設が無いので、新しい庁舎を建てるのであれば木質バイオエネルギーを活用できる施設にしていただきたい。

④八雲町強靱化計画について

総務課参事より説明。

委員：平成25年3月に作られた「八雲町災害時要援護者プラン」では、町内会が町と覚書を結んで取り組むこととなっているが、熊石地域を除いて105の町内会のうち89町内会がこの取り組みをしていない。89町内会に住む高齢者や障がい者に対する手立てが無いのが現状。高齢者・障がい者の近隣住民は、有事には助けようという意識はあるだろうと思うが、仕組みが必要と思う。強靱化計画の中に要援護者プランが盛り込まれていないが、プランを実施すべく努力をしていただきたい。

町：重々反映していきたい。

委員：先程の八雲町役場庁舎等建設計画(案)もこの強靱化計画も、パブコメで意見が出されなかったということだが、発信力が弱いのではないかと思う。町のホームページは自分からアクセスしなければ情報を得られないので、SNSなどを活用して情報を取りに行かなくても若い人たちの目に入る方策をそろそろ真剣に考える時期だと思う。パブコメで意見が無かったから反対が無いということではないと思う。

町：若い人に興味を持ってもらう方策、大変必要なことだと改めて認識した。役場庁舎、避難の問題、新幹線駅前整備等々、SNSで流したり、動画発信したりしながら、意見をもらうことが重要だと思う。

6. その他

委員：昭和湯の再開に向けて、その後の進捗状況を聞きたい。

町：購入した事業者が準備を進めているが、整備に時間がかかり何度も延期されている。そろそろではないかと思う。

7. 閉会